

札幌市内を巡る開拓の歴史観光ガイド

北海道はカルデラ湖だらけ

1 代目道庁:開拓使庁舎



2 代目道庁赤レンガ



北海道ガイドテキスト

Jエコツアー(株)

観光コース設定:最大9箇所 巡る

- (1) 赤れんが広場(1代目道庁:開拓使、2代目道庁:赤レンガ、3代目道庁:現在ある13階のビル)
- (2) 北2条通り(殖産ストリートとして、道路原標になった)
- (3) 旧永山武四郎邸、実質2代目の北海道開発長官(2人ほど1カ月程度で辞任しているので)殖産ストリアートの立案実行者であり、旭川の永山屯田兵村・現在の永山町の永山長官
- (4) 札幌ビール工場跡地(サッポロファクトリー隣接)殖産ストリート政策の結果現在に至る札幌ビール
- (5) 北海道神宮 嶋判官(島義勇)像、神宮内にある六花亭の判官餅(そば粉を混ぜた焼餅)はこの人
※札幌設計に取り掛かった人物 100m道路を発案した
- (6) 大通13丁目旧裁判所の札幌軟石と北海道の火山の関わりで開拓に役立った
- (7) 大通11丁目、2人の銅:黒田清隆・ホーレスケプロン※榎本武揚像は小樽の竜宮神社に
- (8) 札幌農学校(寒冷地に作物や米を育てるための技術者教育)としての札幌時計台
- (9) 北大の敷地規模大きさが分かるように1周してみる(クラーク博士が札幌農学校初代校長としてホーレスケプロンに招聘され、結果今の北海道大学への発展していった)

※9箇所をそれぞれ解説(蝦夷地開拓の視点でつながりを持って)

《手順》

- ① まず、赤レンガ広場で開拓使跡をお客様と一緒に土台の敷石としてコンクリートの縁石埋めてあるので1周歩いてみてから史跡としての石板をお客様と一緒に読んでみる。
- ② 表紙に示したように1代目・2代目・3代目とほぼ同じ場所に道庁がある事自体が観光要素になり非常に珍しいとともに原野から開拓したので広い場所を確保できた証拠にもなる。
- ③ 2代目赤レンガの2階上がり、200号サイズの絵画を説明する
・榎本武揚、黒田清隆・ホーレスケプロンの3名が松浦武四郎の作成した北海道の地図を見ながら議論している様子(何もない原野だから大きく区画割や道路ができる)

- ・開拓政策の1番目→屯田兵村の絵
- ・2番目→北前船を小樽に寄港させ鯨粕と交換した番屋等の絵
- ・3番目→刑務所を作らせ囚人を送り込み、その囚人に道路整備をしている絵
- ・4番目→クラーク博士が馬上で技術者養成の札幌農学校からアメリカへ帰るときの絵

※有名なホーイス・ビアンビヤスの全文が載っている

※ストーリーとしての「榎本武揚・黒田清隆、ホーレスケプロン」3人の努力と考えで今日まで150年で200万都市が出来上がり、開拓時にその中心部に100メートル道路を作ったが、今私達はそこを大通公園と称し市民、観光客、北海道民全体が利用させてもらい、有意義に活用し暮らしている。来道・来札客から観ると、大通公園で1年中イベントを行なっている「楽しくて美しい街」が3人の発想のおかげで出来上がっている。

感謝感謝

札幌以外は……

北海道は火山だらけ・カルデラ湖だらけで北海道は森と湖による景観が素晴らしく温泉が多い観光地

・北海道火山の紹介リスト

旭岳、羅臼岳、知床硫黄山、利尻山、羊蹄山、駒ヶ岳、樽前山、十勝岳、有珠山、アトサヌプリ、
雌阿寒岳、恵庭岳、倶多楽(登別)、恵山、天頂山

・そのうち活火山は

北海道には、現在31の活火山（北方領土の11火山を含む）があります。このうち、雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、アトサヌプリ、大雪山、倶多楽、恵山の9つの活動的な火山

※その火山で湖カルデラ湖は ・ジオパークとの出来た繋がり……国立公園との場所的な比較で見ると……温泉との関係は……のつながりで観光地を考える